

令和7年度 第5回上郷地域会議 会議録

■日 時 令和7年8月19日（火） 午後7時から8時45分まで
■場 所 上郷交流館 2階 ふれあいホール
■出席者 委員 : 14名（欠席 1名）
事務局（上郷支所）：下川支所長、伊藤担当長、松永書記

■次 第

「豊田市民の誓い」唱和

- 1 会長あいさつ
- 2 令和7年度第4回上郷地域会議の会議録の確認について
- 3 協議事項
 - (1) 自主防災会への提案に向けて
- 4 その他
 - (1) 地域会議アンケートについて
 - (2) 地域会議委員再任意向調査について
 - (3) 上郷地域バスについて
 - (4) 次回の地域会議について

■議事（要約）

- 1 会長あいさつ 省略
- 2 令和7年度第4回上郷地域会議の会議録の確認について
 - ・第4回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た。

3 協議事項

(1) 自主防災会への提案に向けて

- ・以下の3点について、全体協議を実施した。

協議内容	結論
会長グループの提案内容は、誰をターゲットとしているか。	自主防災会の役員
提案書案に対して、説明が不足している点や提案内容の実現可能性を高められるような意見があるか。	特になし
今回の提案により、自主防災会にどこまでの成果を求めるか。	各委員の意見を確認したが、具体的な結論には至らなかった。

- ・今回の提案による自主防災会に「求める成果」については、事務局から「防災訓練等の活動について、今一度考えてもらい動き出してほしい」、「1年で役員が変わってしまうため、継続性を持たせる仕組みを提案書に盛り込む」ことを提案した。次回会議では、その提案に基づき修正した提案書をもとに協議を実施することとした。

【質問・意見】

- ・(委員) 少なくとも提案書の内容が、自主防災会で行われていることが重要である。
- ・(委員) 目指す姿に向けて取り組む中で、提案書に縛られずに訓練ができた方がよい。
- ・(委員) 各自治区によって自主防災会のレベルが違いすぎる。自主防災会が活動していることが前提となっているものではなく、あくまできっかけを築くための提案書にする。
- ・(委員) 自主防災会に対してアンケートを取っている。しっかりやっているが3か所で、他の場所はやっていないことを自覚する必要がある。そのきっかけとして提案書を提出したい。
- ・(事務局) 多くの委員が、数年以内に全自主防災会が提案書に記載した訓練を実施することを求める、という意見であったが、実施したかどうかは、どのように確認する想定であるか。

(委員) 各自主防災会の判断になるのではないか。

(事務局) 確実にやってもらうという強い意志で提出する必要があるのではないか。自治区の判断に任せるとなると、提案書の書き方が変わってくる。

(委員) 各自主防災会の判断にしてしまうと、実施しなくなる可能性がある。例えば、防災の日を作り、防犯・防災委員会から強いアプローチをする、ということも考えられるのではないか。

(委員) 訓練の選定に関して、ステップアップ方式にするのはどうか。訓練実施の必須科目を作り、既に実施済みであれば別の物を行う。

(委員) 自主防災会が提案について、継続的に実施してもらうことが地域会議として求めていることである。継続的な実施の確認は、地域会議委員が行うのか市役所職員が行うのか。

(委員) もともと仕組みとしてフォローアップまで組み込んでおく必要がある。各自主防災会で計画書や報告書を作る。その書類を支所で集約して、次年度の自主防災会に対し情報共有できるような仕組みにすれば継続的な実施が可能だと思う。

(事務局) フォローの仕方等を考えるためにも、まずは、「求める効果」をどうするか考えることが優先である。各自主防災会の判断に任せるのであれば、フォローは必要ないと考える。

(委員) 確実にやってもらうという強い意志で提出していく意見が多かったが、各自治区によって事情があるため、報告を求めるとはしない方がよいのではないか。

(委員) 活動できていない自主防災会には、自覚を持ってもらいたい。ただ、毎年区民を巻き込んで訓練を実施することはハードルが高い。

(事務局) 数年後に提案書内訓練を網羅している状態になることが難しいと考えているのか。

(委員) 継続できるとは限らない。自主防災会の委員も一年で交代し、新たに委員になった人によって考え方方が違っているため。

- ・(委員) 防災訓練は各自主防災会が行うと思うが、市で予算を付けることはできるのか。

(事務局) 自主防災会に対する補助制度は既にある。その中に、防災訓練に対する補助金もある。

(委員) 地域会議から予算を出すことはできないのか。

(事務局) 地域課題解決事業のことであれば、実施計画とその内容により予算計上の検討をすることができる。しかし、現在、自主防災会は活動していないところもある。共働の観点が必要になるため、動いていない団体に対して予算を出すことはできない。

(委員) この会議でまず初めに考えなければならないのは、継続的に活動できるような仕組みではないか。

・(事務局) 地域会議の提案は、地域組織に対する強制力はなく、一団体としての提案に留まる。自主防災会が提案書を受けとった際に、必要性は理解されるが、負担を感じるものと推測する。提案していくにあたって、自主防災会の人手が足りなかつたとき、委員の皆さんも御自身が居住している自主防災会のサポートをしていくと思っていてよいか。

(委員) よい。

4 その他

・次の事項について、事務局から報告・連絡があった。

- (1) 地域会議アンケートについて
- (2) 地域会議委員再任意向調査について
- (3) 上郷地域バスについて
- (4) 次回の地域会議について

◆次回会議開催

◇令和7年度 第6回地域会議
とき：令和7年9月16日（火）午後7時から
ところ：上郷交流館 2階 ふれあいホール